



安全、安心な島根に 命と平和を守るためにがんばります

日本共産党

尾村としなり

島根原発点検漏れ

「再発防止策の徹底を」一県、中電に申し入れ

尾村県議は、中国電力の島根原発1、2号機で506件の点検漏れが発覚した問題で、島根県と中国電力に対し、徹底した原因分析と再発防止対策の確立を申し入れました。

申し入れでは、①県民への情報公開を徹底し、説明責任を果たす②今回の問題を調査・研究し、再発防止策を検証する第三者機関を立ち上げる③住民が合意・納得するまで運転は再開しない④プルサーマル計画撤回などを求めました。

中国電力は謝罪し、再発防止、信頼回復に取り組むこと、プルサーマルは地元理解いただくことが必要と考えていると答えました。



(中電に申し入れる尾村県議ら)

尾村県議は、県が「点検漏れを見抜けなかった責任は重大」と指摘。また、中電に対しては、「企業風土の根底に隠ぺい体質とおごりがある」と批判し、安全確保策や保守管理体制のずさんさを厳しく追及しました。

尾村としなり
県政だより

2010年5月発行

日本共産党・尾村としなり事務所

松江市西茶町 105-8

TEL:20-2855

FAX:20-2866

HP 尾村利成と検索してください

E-mail info@omura-toshinari.com

2010年2月県議会と3~5月の議会活動をご報告致します。

-県政や県議会に対するご意見・ご要望をお寄せ下さい-

尾原ダム受水 年8億円の負担 水道料の値上げは許さない

来々4月から斐伊川水道事業が始まります(下記)。
本事業の目的は、人口増加による水需要増にありました。しかし、この人口増加という積算根拠は、完全に破たんしました。事業主体としての県の責任は免れません。

松江市の受水費は、年間約8億円とされており、水道料金の大幅な値上げが懸念されています。

この事業は、誤った需要予測に基づいてすすめられたものであり、市民に責任転嫁すべきではありません。



斐伊川水道建設事業

雲南市奥出雲町の「尾原ダム」を水源に松江市などに水道用水を供給する事業。事業主体は島根県企業局。県は積算根拠としてきた人口増による水需要は「ゼロ」に大幅変更しました。

松江市の上下水道料金は、県庁所在地の中で、全国7位の高さです。2008年度、水道料金未納で1,361件が給水停止となりました。これ以上の水道料金値上げは、市民の暮らしと営業を脅かします。

普天間基地「無条件撤去」こそ解決の道です

沖縄・普天間基地の移設をめぐる、鳩山首相が迷走を続けています。鳩山首相は、「海兵隊は抑止力として必要」と言います。しかし、沖縄の海兵隊は、侵略のための「なぐりこみ部隊」です。日本の総理なら、沖縄県民の思いに応え、基地の無条件撤去を求め、アメリカと堂々と交渉すべきです。

松江の空でも騒音の危険が

米子空港は、2007年に米軍基地化されました(下記)。
尾村県議は、「アメリカ政府は、岩国基地から180キロ圏内に陸上空母離着陸訓練施設を要求しており、米子空港がこの対象となる危険性が大きくなってきた」と指摘し、知事として同空港の米軍使用施設の指定撤回と夜間離着陸訓練基地化は絶対に認められないと国に強く要請することを求めました。

溝口知事は「どういふ影響を及ぼすのか国によく聞き、どう対応するべきか検討しなければならない」と答弁しました。

米子空港の米軍使用

鳩山内閣は、米海軍・厚木基地(神奈川県)から米海兵隊岩国基地(山口県)への空母艦載機移転のための予算を計上し、「理解を得て進める」と閣議決定しています。米子空港(美保基地)は、2007年10月、日米地位協定の適用ある施設・区域とされ、米軍基地化されています。岩国基地から180キロ圏内に夜間離着陸訓練施設を造ると日米合意しており、米子空港が候補地の一つとなっています。